

研究協力をお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

Neutrophil to Lymphocyte Ratio and Platelet to Lymphocyte Ratio alone or in combination with Prostate Specific Antigen for the diagnosis of clinically significant prostate cancer

1. 研究の対象および研究対象期間

2014年1月から2018年1月に当院で前立腺生検を受けた患者様

2. 研究目的・方法

本研究は学術研究であり、昭和大学泌尿器科に入院中の患者さんのデータを利用します。患者さんのデータは病院内の診療録管理室にて「3. 研究に用いる試料・情報の種類」に記載した情報を使用し、取得した情報は、本研究者間のみ情報を共有します。

この研究では、血液パラメーター（PSA、好中球/リンパ球比、血小板/リンパ球比など）と前立腺癌発症率および前立腺癌の悪性度との関係を検討予定。

前立腺がんの診断のスクリーニングで使用される PSA は、非前立腺癌患者においては経済的負担、入院によるストレス、感染のリスクを引き起こすリスクがありデメリットを潜在的に抱えています。

その為、前立腺癌を検出を補助するような検査があれば不要な前立腺生検を避ける可能性があります。

PSA、好中球/リンパ球比、血小板/リンパ球比は採血において得られ、簡便かつ低侵襲で経済的なことも魅力ある評価対象になり得えます。

研究期間

医学研究科 人を対象とする研究等に関する倫理委員会承認後、昭和大学病院 病院長の研究実施許可を得てから2021年3月まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

医療記録から以下の項目を調査予定。

年齢、DRE 所見、PSA、free PSA、free/total PSA、PSAD、前立腺容積、前立腺生検結果、ヘモグロビン、好中球、血小板、リンパ球、好中球とリンパ球の比率、血小板とリンパ球の比率を含みます。

前立腺生検の結果 - がんの有無またはグリーソンスコア、

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

氏名：中里 武彦

所属：昭和大学病院（医学部泌尿器科学講座泌尿器科学部門）

住所：〒142-8555 東京都品川区旗の台 1-5-8

電話番号：03-3784-8560

研究責任者：

所属：昭和大学病院（医学部泌尿器科学講座泌尿器科学部門）

研究責任者：中里 武彦